

【2024年度】児童発達支援事業所における自己評価総括表(公表)

○事業所名	ハッピーライフきたおおさか				
○保護者評価実施期間	2024年11月20日 ～2024年12月20日				
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数)	0	
○従業者評価実施期間	2025年1月15日 ～2025年1月31日				
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月10日				

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団生活の中で社会性やコミュニケーション力を育める。	向き合って御話をする時間やコミュニケーション力を高める時間を設け社会性をたかめる。	自身で出来る事は自身で行って頂き、困った時は自身の口で困りごとを伝える事ができるようにして行く。
2	広々とした空間の中で児童たちが思いっきり身体を動かすことができる。	広い空間で遊びをする中でルールや決りごとを守る事の大切さを身につけてもらう。	楽しすぎて時間を忘れてしまう事がありますが、しっかりと切り替えが出来るようにしていきたい。
3	手話を学ぶ時間を設けている。	初めに手話の大切さのお話を児童たちにしうえで学んでもらっています。	一人一人が手話で自分の名前が出来るようにしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動や取り組みがマンネリ傾向にあります。	他事業所が行っている取り組みや活動を参考にしたい。	職員で話し合いを行い新たな取り組みに取り組んで行きたい。
2	集団活動はそこそこ充実しているが、個別に関して弱い。	担当などをきめるなどして対応していきたい。	ミーティングを行い、意見を出し合ってその児童に合った取り組みに取り組んで行きたい。
3	地域交流や地域の園や小学校との連携が弱い。	学校へのお迎えの際に先生やいきいきの教室の方々とどんどんこちらからコミュニケーションを取っていきます。	地域の会議などにどんどん参加して行きたいと考えています。